**岡山県立和気閑谷高等学校学校運営協議会　－第１回会議（書面会議）議事録－**

令和３年７月２６日

**●出席者（回答者）**委員15人中１４人の回答があった

**●決議事項**

（１）会長・副会長の選出

・ 会　長　草加　信義　委員、副会長　友實　武則　委員、副会長　𠮷村　武司　委員

１４人中１４人の承認「可」との回答により選出決定

（２）本年度学校運営計画　　　１４人中１４人の承認「可」との回答によって承認された

（主な意見）

ア　学びの質の更なる向上

・　ICTの積極的活用により、基本的生活習慣・学習内容の定着や個別最適化を図り、併せて探究活動を進めており、方向性は良い。

・　創学３５１年を迎え、地域の指導者となる人材を数多く輩出しており、赤磐市役所にも貴校の卒業生が多く勤務し、中心的な存在となって活躍している。特色ある教育活動に加えて、伝統校として一層の学力の向上にも努めていただきたい。

イ　地域との協働体制づくり

・　「地域協働探究」の記載がある一方、「閑谷學」への言及が見られないことが気になる。

ウ　生徒募集活動の充実

・　先生方の懸命なご尽力にも関わらず、外的要因によって入学者増が阻まれていることに忸怩たる思いである。

（３）本年度学校経営予算　　　１４人中１４人の承認「可」との回答によって承認された

（主な意見）

・　令和３年度で文部科学省の指定期間が終了するため、令和4年度以降の予算をどのように計上していくか。またそのためには令和２年度までの取組でどのような成果がでているかを根拠として予算を要求していく必要がある。

・　「カリキュラム開発等専門家」の具体的な役割や、これまでの活動実績と成果等について、その詳細を学校運営協議会で報告して頂くと、今後の予算申請や恒常的な配置を要求する際に有効ではないかと思う。

**●協議事項**

「スクール・ポリシーの策定について」

（主な意見）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①これからの地域社会にいてほしい人間像  ・地域社会・課題への関心を持つ、主体的に関わる  ・変化への適応力や、柔軟性がある  ・他者への寛容、貢献の姿勢をもつ／協働できる  ・課題解決力をもつ  ・自分を大切にする／自己肯定感 |  | ②高校卒業時点までに育ってほしい人間像  ・学習する人／学習意欲を持つ  ・思考・判断力、問題解決力（への意欲）  ・社会性（社会規範意識、社会／地域参画意識）  ・自己の尊重  ・個性の確立  ・レジリエンス |